



浅草地域帰宅困難者及び外国人対応訓練を支援



自衛隊東京地方協力本部台東出張所（所長 野川一陸尉）は3月7日、第14回浅草地域帰宅困難者及び外国人観光客対応訓練を支援した。

本訓練は、多数の外国人観光客が集まる浅草地域において、災害発生時の混乱防止を図るため、地域と行政が一体となって帰宅困難者への支援や外国人観光客への情報提供を行い、安全・安心な街「浅草」の普及啓発を図ることを目的としている。

訓練では、地元小学生や町会青年部による帰宅困難者の案内、一時滞在施設の開設・運営、外国人観光客向け情報発信訓練（外国語によるSNS等での発信）を実施したほか、浅草寺本堂裏に設置された防災体験コーナーでは、災害時に活動する車両・装備等が展示される中、自衛隊からは台東区の警備を担当する第1普通科連隊が高機動車、軽装甲機動車、偵察用オートバイ、人命救助システムの装備展示を実施した。また、台東出張所は、第1普通科連隊が炊事車で調理したカレー300食を東京都自衛隊家族会台東区会及び台東区募集相談員と連携しながら訓練参加者へ配食支援をするともに、自衛官の採用広報活動を実施した。

参加者からは、「災害時における自衛隊の装備に触れる貴重な機会を持つことができた」、「本訓練を通じて災害に対する備えの重要性を再認識した」などの意見を聞くことができた。

台東出張所は、これからも熱意と創意をもって自衛隊の魅力を発信しながら、隊区担任部隊及び各協力団体との連携を堅持するとともに地域との深い関わりを大切にすることで地域の安定化に寄与する。

「第1師団創立記念行事」で広報活動を実施



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は4月13日、陸上自衛隊練馬駐屯地において開催された「第1師団創立63周年・練馬駐屯地創設74周年記念行事」において広報ブースを展開し、広報活動を実施した。

本記念行事では、駐屯地を一般開放して、記念式典、観閲行進、訓練展示、体験搭乗などが行われ、当日はあいにくの雨天にもかかわらず、家族連れなど約7千2百人が来場した。

広報ブースでは、ガラポン抽選会、VRゴーグル体験、迷彩服・制服の試着コーナーを運営した。ガラポン抽選券を手にした家族連れなど多数の来場者が訪れ、抽選結果に一喜一憂したり、若者や子供に人気のVRゴーグル体験では、臨場感のある映像に驚きの声や「カッコイイ」等の歓声があがったりと大盛況であった。また、迷彩服・制服を試着体験した子供たちは、地本公式SNSにて高い反響を得ている広報班員と記念写真を撮る等、終始盛況で多くの方に楽しんでもらうことができた。

来場者からは、「自衛隊の仕事内容を一部でも具体的に知ることが出来て良かった」「隊員の方が実際に働く姿がとても格好良かった」「自衛隊のイベントに参加してみたい」といった声が聞かれ好評であった。

東京地本は、今後も基地や駐屯地と連携し自衛隊の魅力を伝える募集・広報活動を実施して、自衛官募集業務に繋げていく。